

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
 - ・施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
 - ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補 足

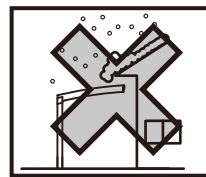
- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

< 施工の前に >

⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更しないでください。
- ・設置場所の確認をしてください。
- ※施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
- ※建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
- ※強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。
- また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取り付けてください。
- ・ミニ・1台用は着脱式サポートを併用してください。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。
- 排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。



お願い

- ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

< 基礎工事について >

⚠ 注意

- ・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴（φ6）をあけてください。
- 柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。
- 使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- ・コンクリート強度は18N/mm²以上で施工してください。
- ・養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。
- ・確認申請による設置の場合は、設置場所・現地地耐力・設置条件によって基礎サイズが異なるため、確認して施工してください。
- ・施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

< 施工上のご注意 >

⚠ 注意

- ・アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・指定の箇所にシーリングをしてください。漏水の原因になります。
- ・シリコンシーリング材を使用する場合は、
当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント 72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール 380
東レ・ダウコーニング（株）	SE960

- ・ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
製品の強度低下、またはケガのおそれがあります。

※φ4ネジ :2.0N・m±0.2N・m

※M10ボルト:34.0N・m±0.5N・m (340±5kgf・cm)

お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ・取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ・腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- ・デザイン格子施工時は屋根にキズを付けないように、養生してください。

< 施工の後に >

⚠ 注意

- ・ボルト、ネジの締め忘れがないか確認し、ゆるんでいる場合は締めなおしてください。

施工チェックシート

※施工時に下記を必ずご確認ください。この項目を守らないと不具合発生につながります。

確認後チェック欄に ☒ マークを付けてください。

No.	確認項目	不具合現象
コンクリートを打設する前のチェック内容		
1	本体柱の基礎と本体タイプと一致していますか？	強度が不足し、構造物が破損するおそれがあります。
2	サブ柱と本体柱の相対位置関係が基礎の隅出しと一致していますか？	
3	サブ柱と本体柱およびその基礎の位置関係が基礎の隅出しと一致していますか？	他の部材との接合部が適切に合わなくなるおそれがあります。
コンクリートが固まる前のチェック内容		
1	サブ柱は垂直状態ですか？	施工完了後に、形材のねじれを引き起こすおそれがあります。
施工完了後のチェック内容		
1	サブ柱とデザイン格子の水抜き穴は開けましたか？	柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。

INDEX

■ 表示マーク	3	■ 基礎の施工	12
■ 施工の流れ	3	① 柱の建て込み	12
■ 各部の名称	4	■ 3 デザインフレームと柱の組付け	13
■ 基本タイプの施工	6	■ 4 デザイン格子とデザインフレームの組付け	14
■ 基本の確認事項	6	■ 5 デザイン格子と埋込み施工補助部材の取付け	15
□ 姿図	6	■ 6 サブ柱キャップの取付け	16
□ 基礎の隅出し	7	■ 7 サブ柱とデザイン格子の水抜き加工	16
□ サブ柱基礎寸法	7	■ 梱包明細表	17
□ デザイン格子設置可能角度	8		
□ デザイン格子設置寸法	8		
■ 1 部材の加工	9		
1 デザインフレームの加工	9		
2 デザインフレームカバーの加工	9		
3 埋込補助部材の加工	10		
4 本体柱の加工	10		
5 サブ柱の加工	11		
6 デザイン格子の加工	11		

表示マーク



本文中参照先を示しています。



シーリング箇所



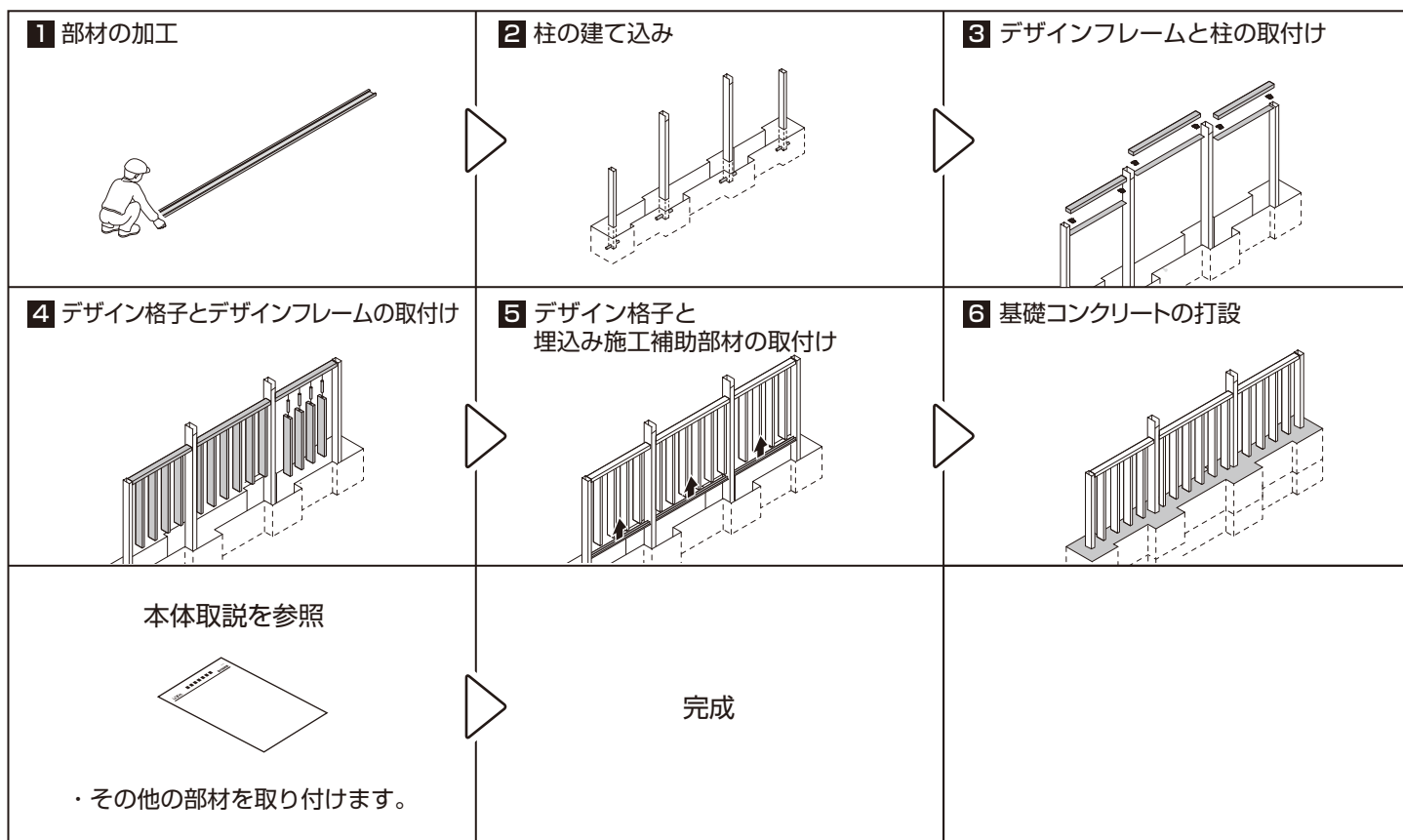
オプション製品



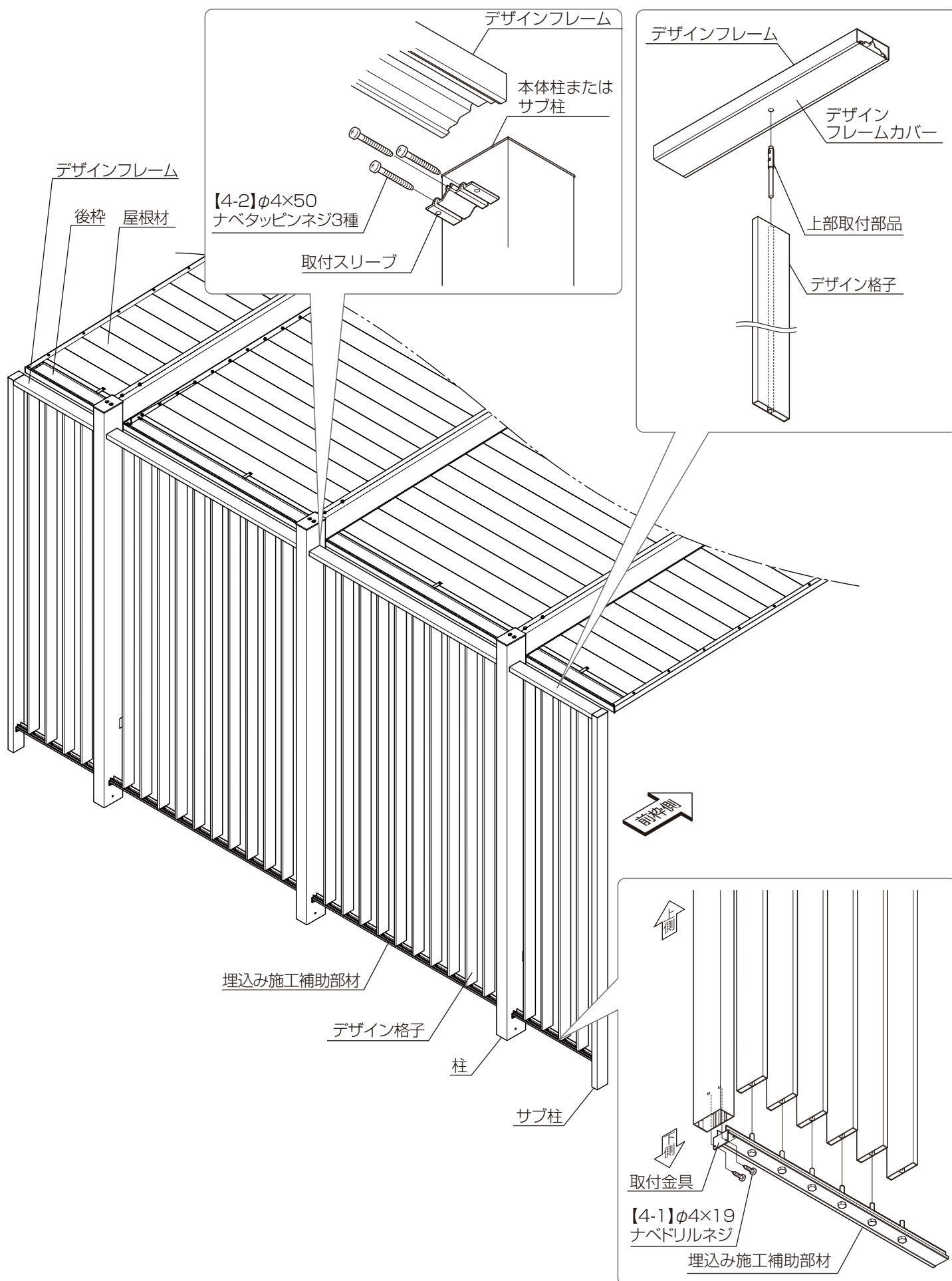
下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「SC ミニ・1 台用 着脱式サポート 取付説明書(D646)」
 「SC 2 台用・1500 1 台用・1500 2 台用・3000 1 台用・3000 2 台用 基本縦連棟 取付説明書(D649)」
 「SC ミニ・1 台用 基本縦連棟 取付説明書(D643)」
 「SC 屋根照明 取付説明書(EXM-066)」
 「SC 3 台用 基本 取付説明書(EXM-058)」

施工の流れ



各部の名称



☐ デザイン格子取付可能範囲

本体タイプ		サイズ	取付け場所					
			水下側			水上側		
			H22	H25	H28	H22	H25	H28
SC	1台用	W24	○	○	×	—		
		W27	○	○	×			
		W30	○	○	×			
		W33	○	○	×			
	2台用	W48	○	○	○	○	○	×
		W54	○	○	○	○	○	×
		W60	○	○	○	○	○	×
	3台用	W72	○	○	○	○	○	×
		W81	○	○	○	○	○	×
		W90	○	○	○	○	×	×
SC1500	1台用	W30	○	○	○	○	○	×
		W33	○	○	○	○	○	×
		W36	○	○	○	○	○	×
		W42	○	○	○	○	○	×
	2台用	W48	○	○	○	○	○	×
		W54	○	○	○	○	○	×
		W60	○	○	○	○	○	×
SC3000	1台用	W30	○	○	○	○	○	×
		W33	○	○	○	○	○	×
		W36	○	○	○	○	○	×
		W42	○	○	○	○	○	×
	2台用	W48	○	○	○	○	○	×
		W54	○	○	○	○	○	×
		W60	○	○	○	○	○	×

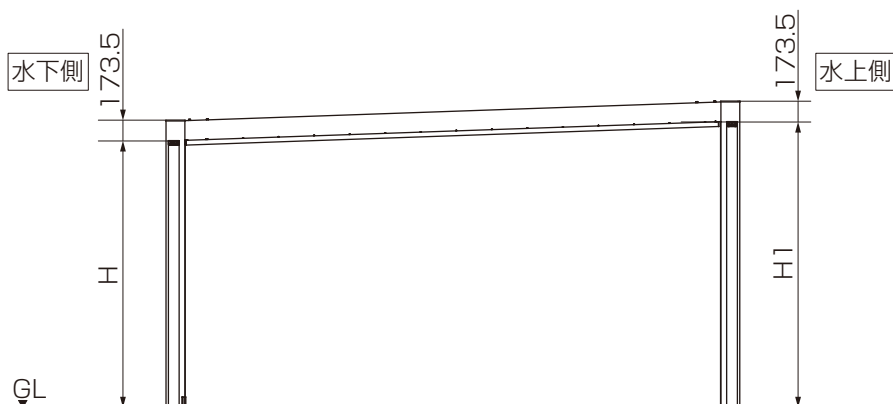
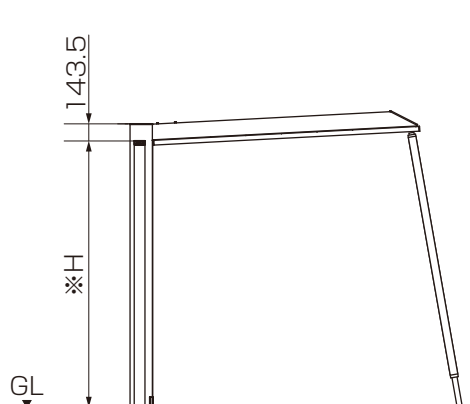
基本タイプの施工

基本の確認事項

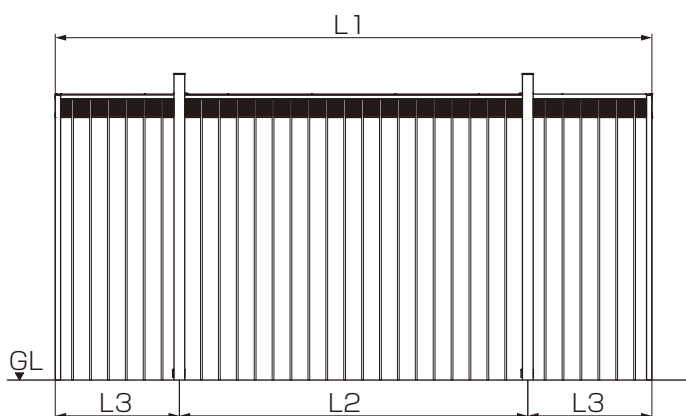
□ 姿図

【1台用】

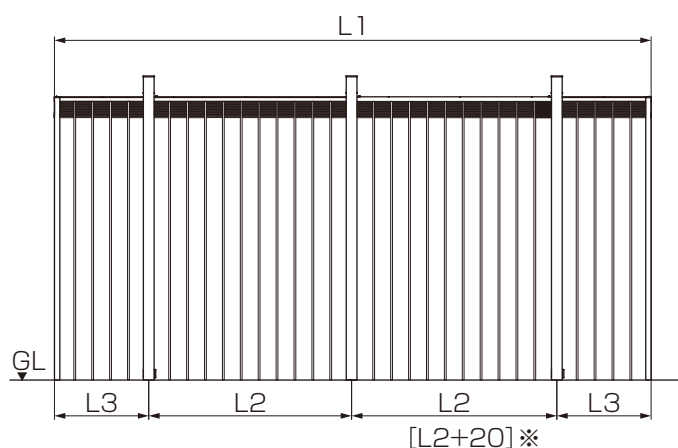
【2台用・3台用・1500 1台用・1500 2台用・3000 1台用・3000 2台用】



【二本梁仕様】※前枠側から見ています。



【三本梁仕様】※前枠側から見ています。



※[]内寸法は3台用・3000 1台用・3000 2台用の寸法です。

本体タイプ	奥行	L1	L2	L3
1台用 (W33以外)	L50	5000	2900	1050
	L57	5700	3300	1200
1台用 W33	L50	5000	1700	800
	L57	5700	1900	950
2台用	L50	5000	2920	1040
	L57	5700	3320	1190
3台用	L50	5000	1700	790
	L57	5700	1900	940
1500 1台用	L50	5000	2920	1040
	L57	5700	3320	1190
1500 2台用	L50	5000	2920	1040
	L57	5700	3320	1190
3000 1台用	L50	5000	1700	790
	L57	5700	1900	940
3000 2台用	L50	5000	1700	790
	L57	5700	1900	940

本体タイプ		サイズ	H	H1
SC	1台用	W24	2234.5	—
		W27		—
		W30		—
		W33		—
	2台用	W48	2234.5	2393.5
		W54		2414.5
		W60		2435.5
		W72		2475.5
	3台用	W81		2506.5
		W90		2537.5
SC1500 SC3000	1台用	W30		2331.5
		W33		2341.5
		W36		2352.5
		W42		2372.5
	2台用	W48		2392.5
		W54		2413.5
		W60		2433.5

補 足

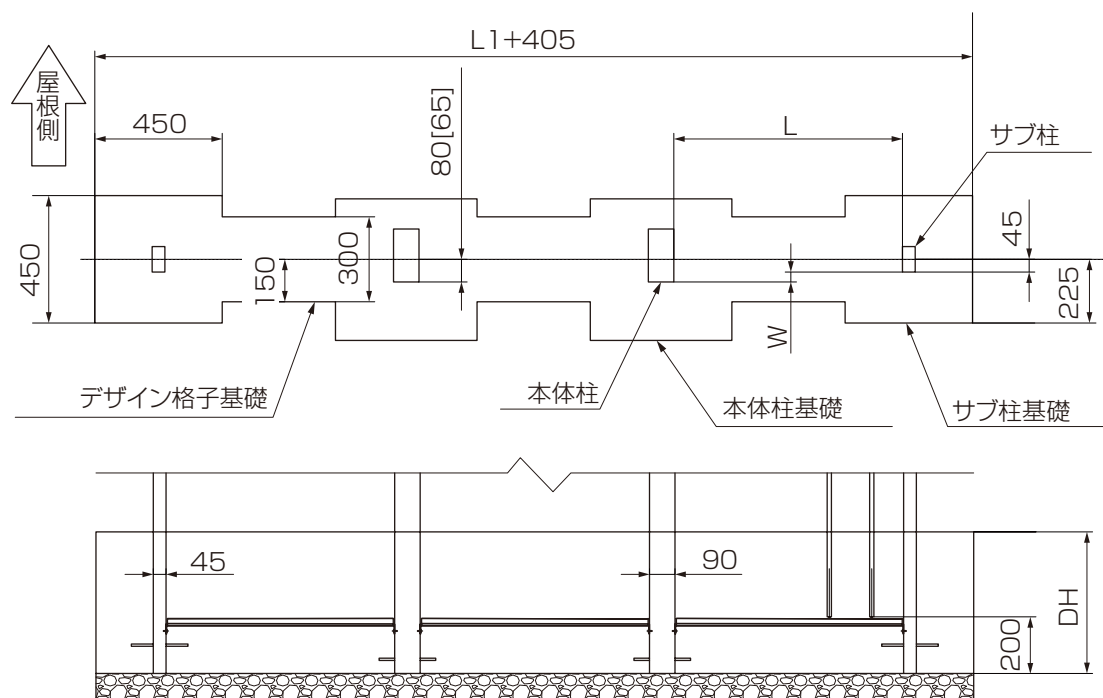
【ロング柱(H25)の場合】
H寸法に+300してください。

【H28柱(H28)の場合】
H寸法に+600してください。

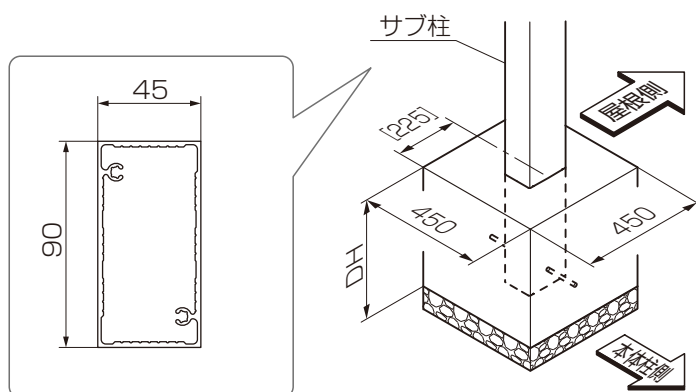
基礎の隅出し

補 足

[]は2台用、1500 1台用、3000 1台用の寸法です。
本体柱の基礎サイズは本体の取説を参考してください。



本体タイプ	奥行	L	L1	W	DH
1台用 (W33以外)	L50	960	5000	35	550
	L57	1110	5700	35	
1台用 W33	L50	710	5000	35	550
	L57	860	5700	35	
2台用	L50	950	5000	20	500
	L57	1100	5700	20	
3台用	L50	700	5000	35	
	L57	850	5700	35	
1500 1台用	L50	950	5000	20	
	L57	1100	5700	20	
1500 2台用	L50	950	5000	35	
	L57	1100	5700	35	
3000 1台用	L50	700	5000	20	
	L57	850	5700	20	
3000 2台用	L50	700	5000	35	
	L57	850	5700	35	



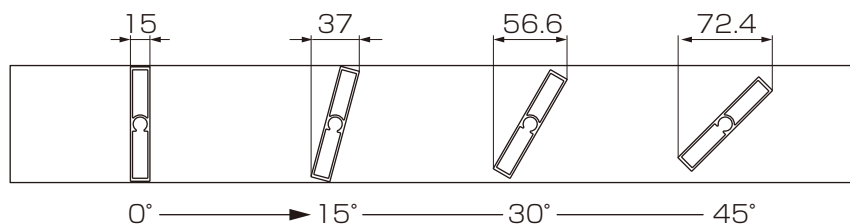
お 願 い

加工後のサブ柱には向きがあります。補強材と埋め込みシールがある方を埋め込んでください。

補 足

[]内寸法は柱芯から基礎端面までの寸法です。

□ デザイン格子設置可能角度



補 足

1°～14°の範囲は格子断面がはみ出すため設置不可です。

⚠ 注 意

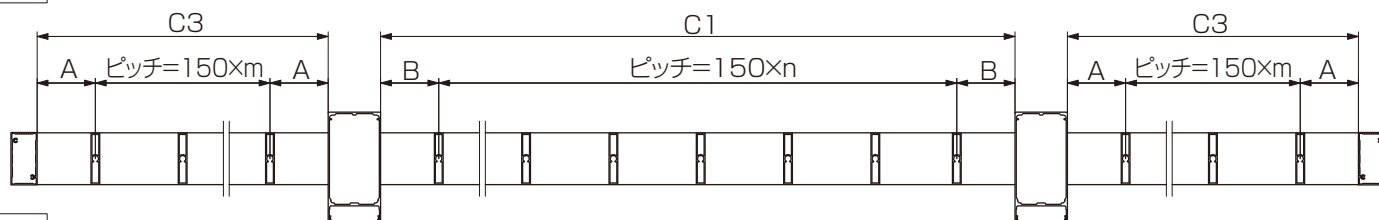
必ず右の表確認し最大角度を守ってください。
設置可能角度以上で設置すると、強度不足による製品破損
倒壊による、人への危害・物の損害のおそれがあります。

本体タイプ	最大角度
1台用(W33以外)	30°
1台用 W33	45°
2台用	30°
3台用	45°
1500 1台用	30°
1500 2台用	30°
3000 1台用	45°
3000 2台用	45°

□ デザイン格子設置寸法

【二本梁仕様】

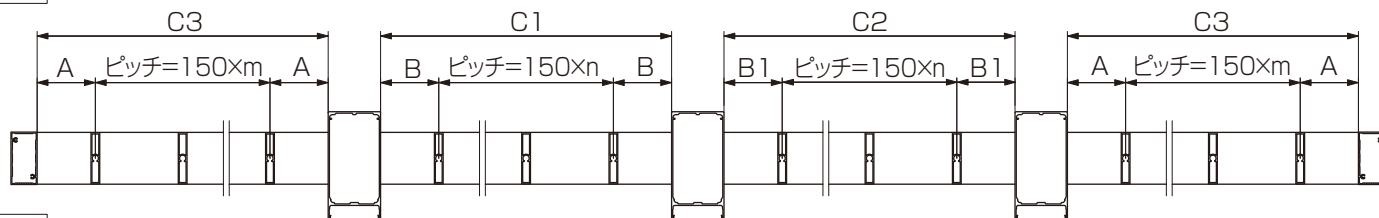
水下側



水上側

【三本梁仕様】

水下側



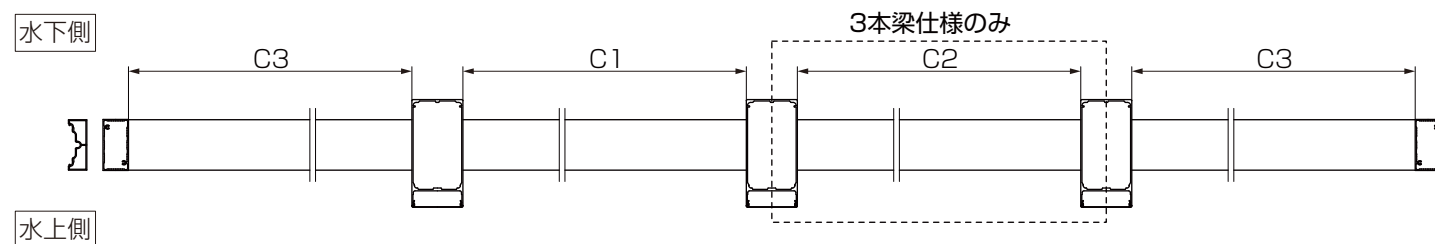
水上側

本体タイプ	奥行	A	B	B1	C1	C2	C3	n	m	ピッチ
1台用 (W33以外)	L50	105	130	—	2810	—	960	17	5	150
	L57	105	105	—	3210	—	1110	20	6	150
1台用 W33	L50	130	130	130	1610	1610	710	9	3	150
	L57	130	155	155	1810	1810	860	10	4	150
2台用	L50	100	140	—	2830	—	950	17	5	150
	L57	100	115	—	3230	—	1100	20	6	150
3台用	L50	125	130	140	1610	1630	700	9	3	150
	L57	125	155	165	1810	1830	850	10	4	150
1500 1台用	L50	100	140	—	2830	—	950	17	5	150
	L57	100	115	—	3230	—	1100	20	6	150
1500 2台用	L50	100	140	—	2830	—	950	17	5	150
	L57	100	115	—	3230	—	1100	20	6	150
3000 1台用	L50	125	130	140	1610	1630	700	9	3	150
	L57	125	155	165	1810	1830	850	10	4	150
3000 2台用	L50	125	130	140	1610	1630	700	9	3	150
	L57	125	155	165	1810	1830	850	10	4	150

1 部材の加工

1 デザインフレームの加工

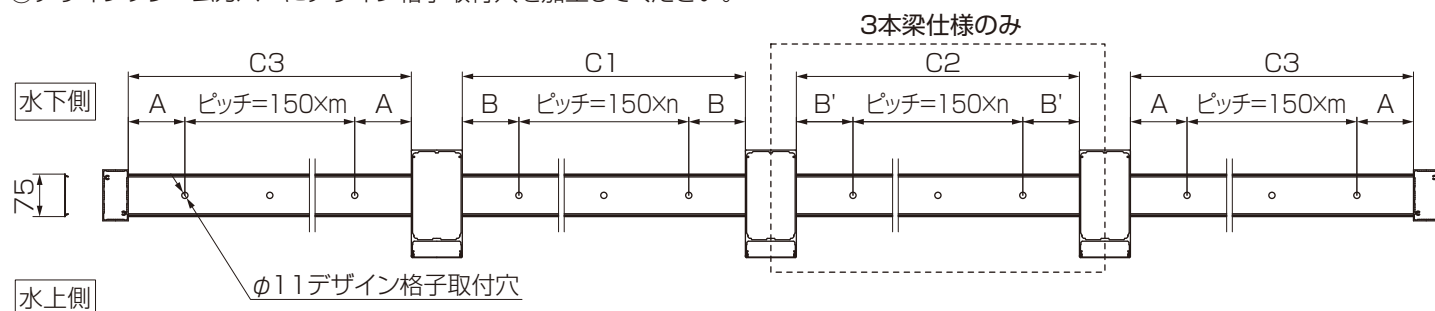
①デザインフレームを加工してください。



本体タイプ	間口	奥行	はね出し部	中間部	
			C3	C1	C2
1台用	W24~30	L50	960	2810	—
		L57	1110	3210	—
	W33	L50	710	1610	1610
		L57	860	1810	1810
2台用	W48~60	L50	950	2830	—
		L57	1100	3230	—
3台用	W72~81	L50	700	1610	1630
		L57	850	1810	1830
1500 1台用	W30~60	L50	950	2830	—
1500 2台用		L57	1100	3230	—
3000 1台用	W30~60	L50	700	1610	1630
3000 2台用		L57	850	1810	1830

2 デザインフレームカバーの加工

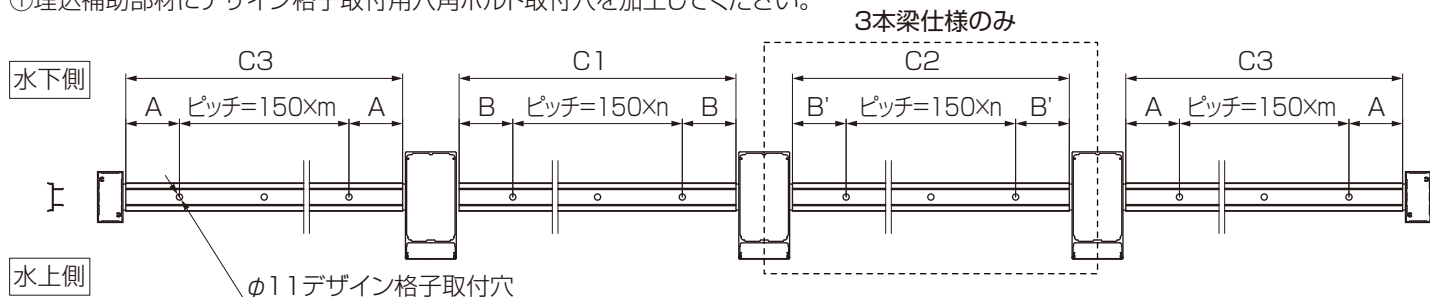
①デザインフレームカバーにデザイン格子取付穴を加工してください。



本体タイプ	間口	奥行	はね出し部			中間部				
			C3	A	n	C1	B	C2	B'	n
1台用	W24~30	L50	960	105	5	2810	130	—	—	17
		L57	1110	105	6	3210	105	—	—	20
	W33	L50	710	130	3	1610	130	1610	130	9
		L57	860	130	4	1810	155	1810	155	10
2台用	W48~60	L50	950	100	5	2830	140	—	—	17
		L57	1100	100	6	3230	115	—	—	20
3台用	W72~81	L50	700	125	3	1610	130	1630	140	9
		L57	850	125	4	1810	155	1830	165	10
1500 1台用	W30~60	L50	950	100	5	2830	140	—	—	17
1500 2台用		L57	1100	100	6	3230	115	—	—	20
3000 1台用	W30~60	L50	700	125	3	1610	130	1630	140	9
3000 2台用		L57	850	125	4	1810	155	1830	165	10

3 埋込補助部材の加工

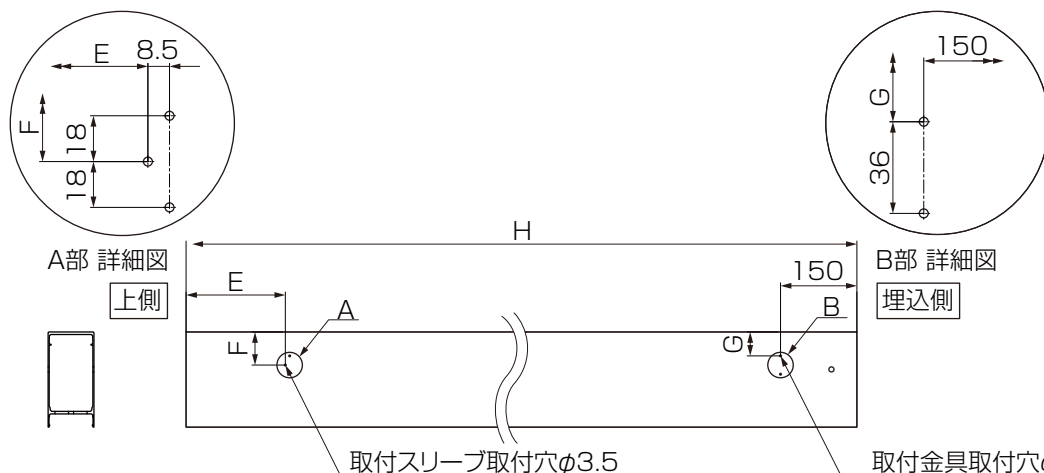
①埋込補助部材にデザイン格子取付用六角ボルト取付穴を加工してください。



本体タイプ	間口	奥行	はね出し部			中間部				
			C3	A	n	C1	B	C2	B'	n
1台用	W24~30	L50	950	100	5	2800	125	—	—	17
		L57	1100	100	6	3200	100	—	—	20
1台用	W33	L50	700	125	3	1600	125	1600	125	9
		L57	850	125	4	1800	150	1800	150	10
2台用	W48~60	L50	940	95	5	2820	135	—	—	17
		L57	1090	95	6	3220	110	—	—	20
3台用	W72~81	L50	690	120	3	1600	125	1620	135	9
		L57	840	120	4	1800	150	1820	160	10
1500 1台用	W30~60	L50	940	95	5	2820	135	—	—	17
1500 2台用		L57	1090	95	6	3220	110	—	—	20
3000 1台用	W30~60	L50	690	120	3	1600	125	1620	135	9
3000 2台用		L57	840	120	4	1800	150	1820	160	10

4 本体柱の加工

①本体柱に取付スリーブと取付金具の取付穴を加工してください。



補 足

- 柱を加工する前に、本体の取付説明書を参照して加工してから取付穴の加工をしてください。
- 取付スリーブと取付金具を取付ける必要がある面のみ、穴加工をしてください。

本体タイプ	間口	前枠側柱			
		E	F	G	H
2台用	W48	190	65	47	3067
	W54	190	65	47	3088
	W60	190	65	47	3109
3台用	W72	190	80	62	3149
	W81	190	80	62	3180
	W90	190	80	62	3211
	W30	190	65	47	3005
1500 1台用	W33	190	65	47	3016
3000 1台用	W36	190	65	47	3026
	W42	190	65	47	3047
1500 2台用	W48	190	80	62	3066
3000 2台用	W54	190	80	62	3087
	W60	190	80	62	3108

本体タイプ	後枠側柱		
	E	F	G
1台用	160	80	62
2台用	190	65	47
3台用	190	80	62
1500 1台用	190	65	47
1500 2台用	190	80	62
3000 1台用	190	65	47
3000 2台用	190	80	62

補 足

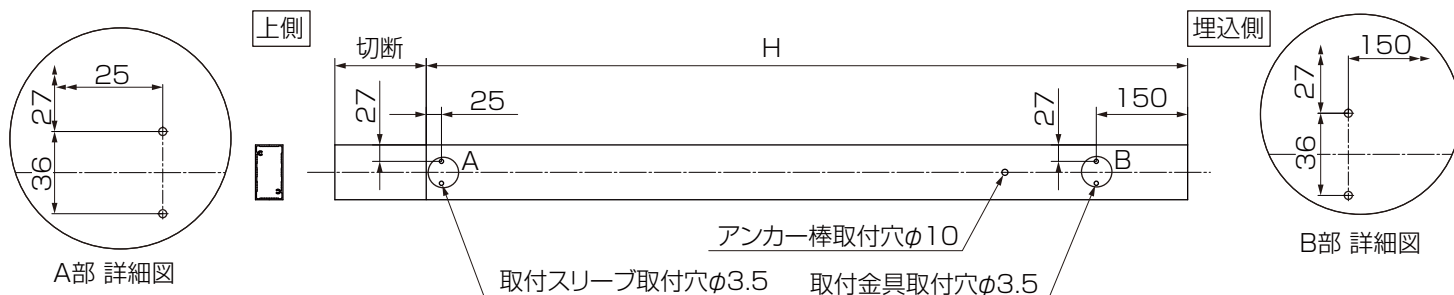
本体柱を加工する場合、H寸法は下記にしてください。

【ロング柱(H25)の場合】
H寸法に+300してください。

【H28柱(H28)の場合】
H寸法に+600してください。

5 サブ柱の加工

①サブ柱を切断し、穴加工をしてください。



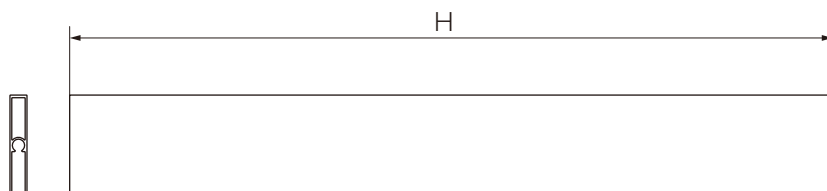
本体タイプ	間口サイズ	後枠側		前枠側	
		H	切断長	H	切断長
1台用	W24	2784.5	548	—	—
	W27	2784.5	548	—	—
	W30	2784.5	548	—	—
	W33	2784.5	548	—	—
2台用	W48	2734.5	598	2893.5	439
	W54	2734.5	598	2914.5	418
	W60	2734.5	598	2935.5	397
3台用	W72	2734.5	598	2975.5	357
	W81	2734.5	598	3006.5	326
	W90	2734.5	598	3037.5	295
1500 1台用 3000 1台用	W30	2734.5	598	2831.5	501
	W33	2734.5	598	2842.5	490
	W36	2734.5	598	2852.5	480
	W42	2734.5	598	2873.5	459
1500 2台用 3000 2台用	W48	2734.5	598	2892.5	440
	W54	2734.5	598	2913.5	419
	W60	2734.5	598	2934.5	398

補 足

- 加工する前に、サブ柱キャップを外してください。
 - 取付スリーブと取付金具を取付ける必要がある面のみ、穴加工をしてください。
 - 切断加工は、上側から切断してください。
 - サブ柱を加工する場合、H寸法は下記にしてください。
- 【ロング柱(H25)の場合】
H寸法に+300してください。
- 【H28柱(H28)の場合】
切断加工は不要です。

6 デザイン格子の加工

①デザイン格子を加工してください。



お願い

- 加工する前に、必要本数と各寸法を確認してください。
- 必要本数と各寸法はP.8のデザイン格子設置寸法表を確認してください。

補足

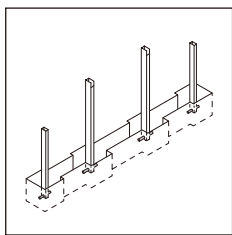
デザイン格子を加工する場合、H寸法は下記にしてください。

【ロング柱(H25)の場合】
H寸法に+300してください。

【H28柱(H28)の場合】
切断加工は不要です。

本体タイプ	間口サイズ	後枠側		前枠側	
		H	切断長	H	切断長
1台用	W24	2552	548	—	—
	W27	2552	548	—	—
	W30	2552	548	—	—
	W33	2552	548	—	—
2台用	W48	2502	598	2661	439
	W54	2502	598	2682	418
	W60	2502	598	2703	397
3台用	W72	2502	598	2743	357
	W81	2502	598	2774	326
	W90	2502	598	2805	295
1500 1台用 3000 1台用	W30	2502	598	2599	501
	W33	2502	598	2610	490
	W36	2502	598	2620	480
	W42	2502	598	2641	459
1500 2台用 3000 2台用	W48	2502	598	2660	440
	W54	2502	598	2681	419
	W60	2502	598	2702	398

2 基礎の施工



本体の柱基礎については、
下記の取付説明書を併せて参照してください。

「SC ミニ・1台用 基本・縦連棟 取付説明書(D643)」

「SC 2台用・1500 1台用・1500 2台用・3000 1台用・3000 2台用 基本縦連棟 取付説明書(D649)」

「SC 3台用 基本 取付説明書(EXM-058)」

お願い

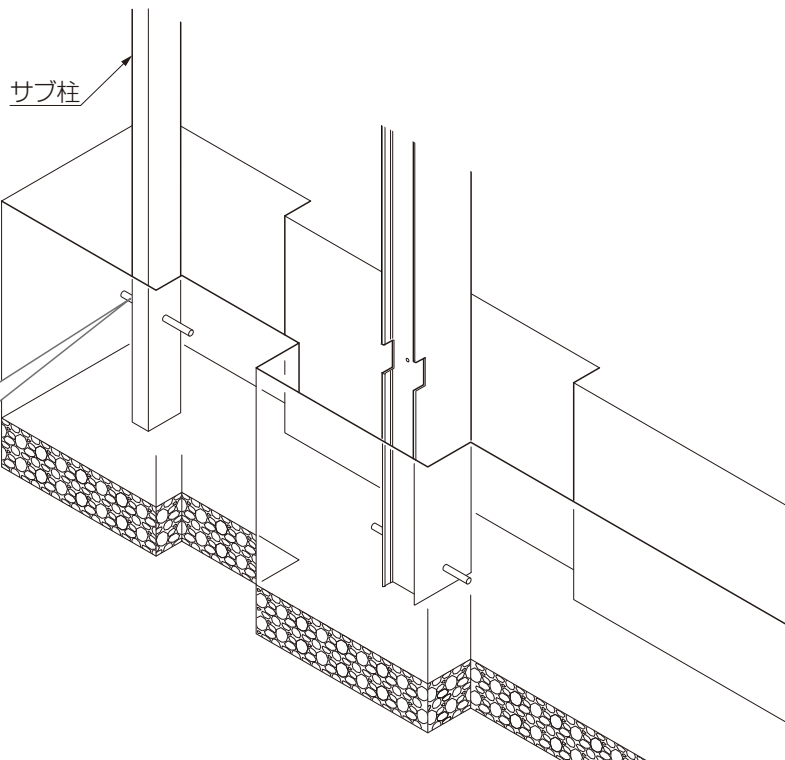
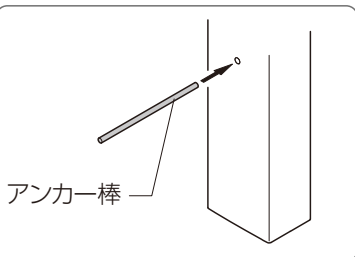
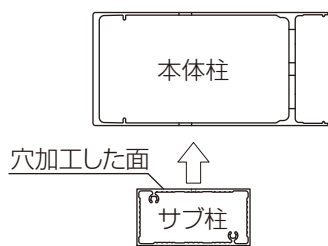
柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。

1 柱の建て込み

サブ柱を、P.7の「基礎の隅出し」と「サブ柱基礎寸法」にしたがって建て込んでください。

お願い

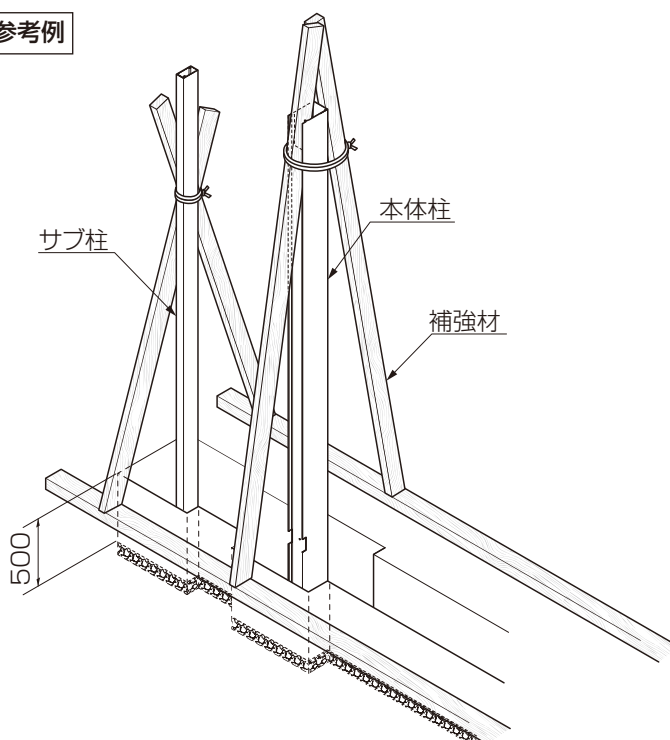
本体の柱にサブ柱の穴加工
した面を向けてください。



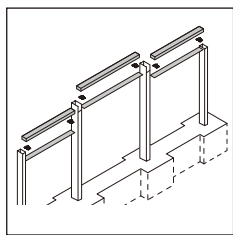
補 足

デザイン格子の取付けが全て完了する前に
コンクリートの打設はできないため、本体柱
とサブ柱を仮固定する必要があります。

参考例



3 デザインフレームと柱の組付け



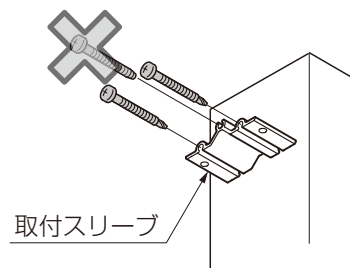
- ①取付スリーブを【4-2】で取付けてください。
※サブ柱の場合、真ん中の【4-2】を組付けしないでください。

【4-2】φ4×50
ナベタッピンネジ3種

取付スリーブ

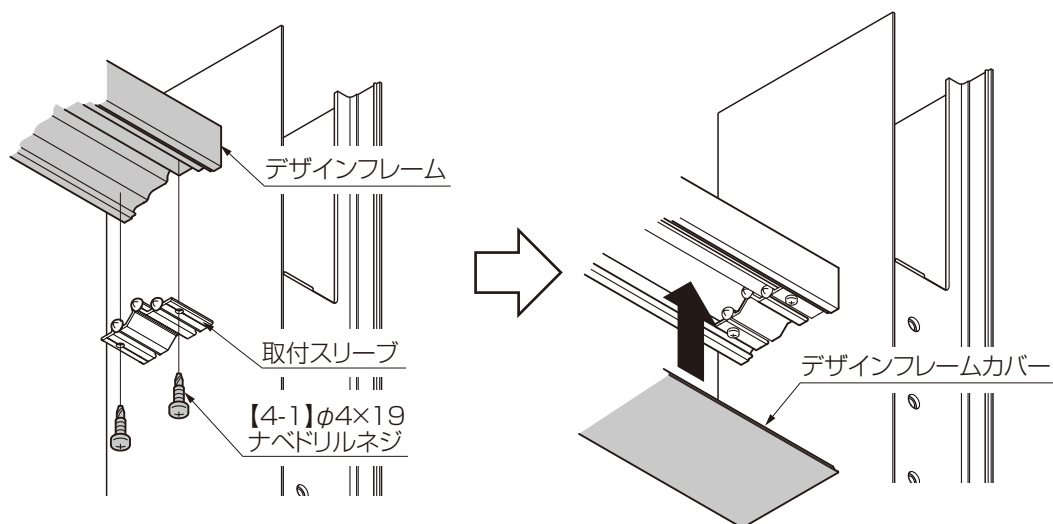
お願い

サブ柱の場合、中央のネジは取付けしないでください。柱キャップを取付けることができません。



取付スリーブ

- ②デザインフレームを取付けスリーブに【4-1】で取付けてください。
③デザインフレームカバーをはめ込んでください。



デザインフレーム

取付スリーブ

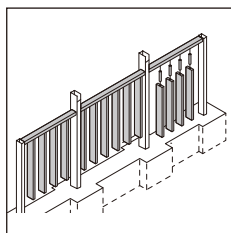
【4-1】φ4×19
ナベドリルネジ

デザインフレームカバー

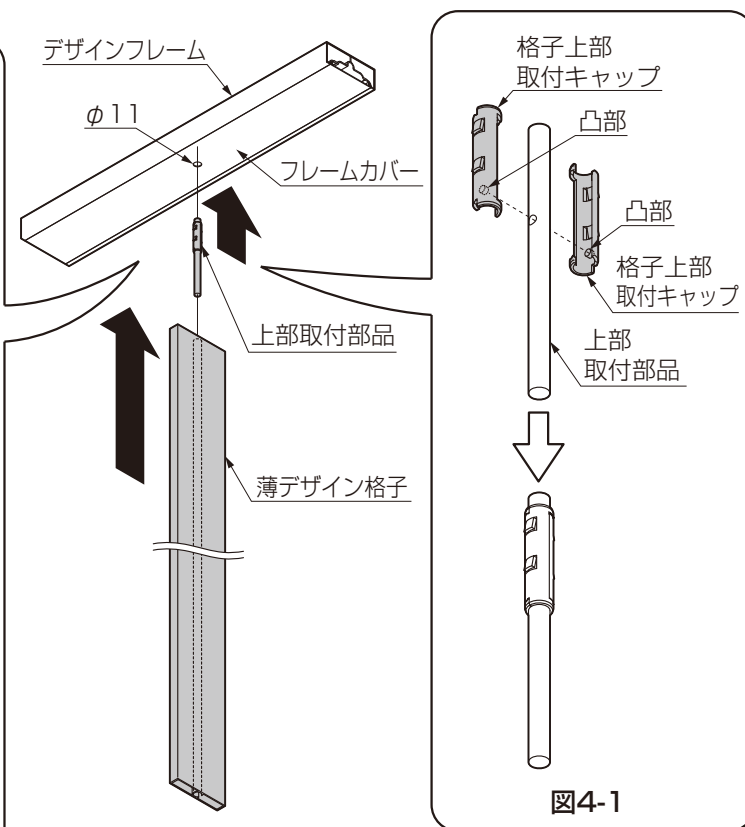
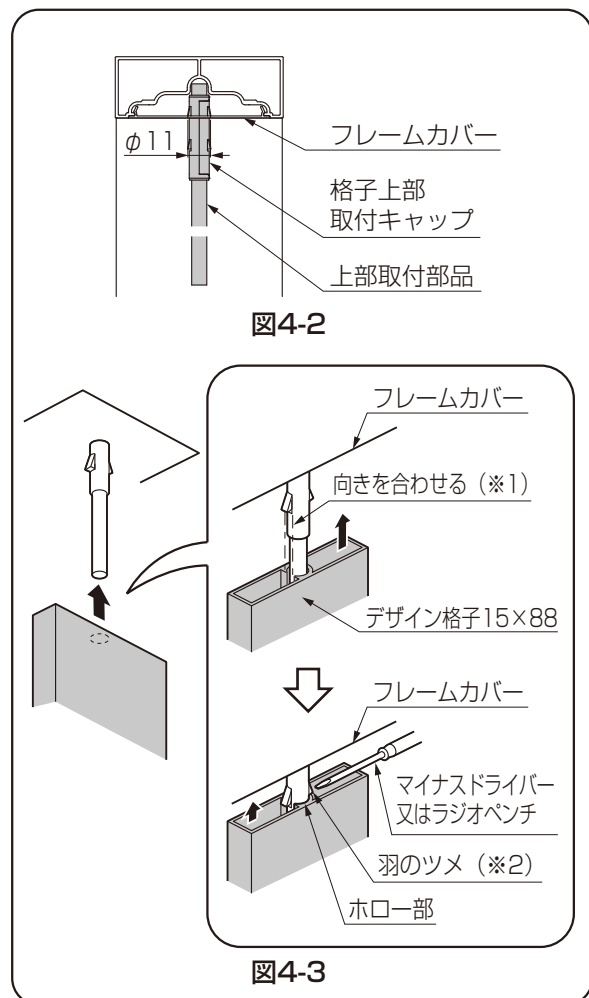
お願い

デザインフレームカバーは当て木を使用してハンマーなどで
はめ込んでください。

4 デザイン格子とデザインフレームの組付け



※「**5** デザイン格子埋込み施工補助部材の取付け」と同時に行なってください。



- ①フレームカバーをデザインフレームに取付けてください。
- ②格子上部取付キャップを上部取付部品にはめ込んでください。(図4-1参照)
- ③上部取付部品をフレームカバーに差し込んでください。(図4-2参照)

お願い

格子上部取付キャップ上側の羽部分だけをフレームカバーに引っ掛けてください。(図4-2参照)

- ④デザイン格子15×88を上部取付部品に差し込んで、フレームカバーに押し当ててください。(図4-3参照)

お願い

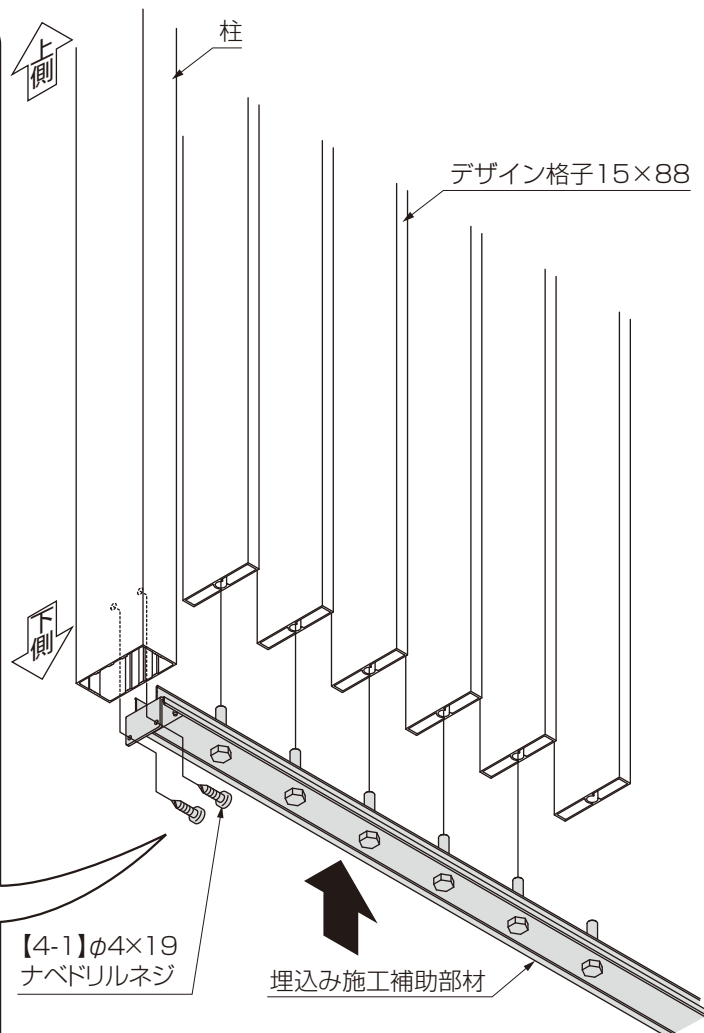
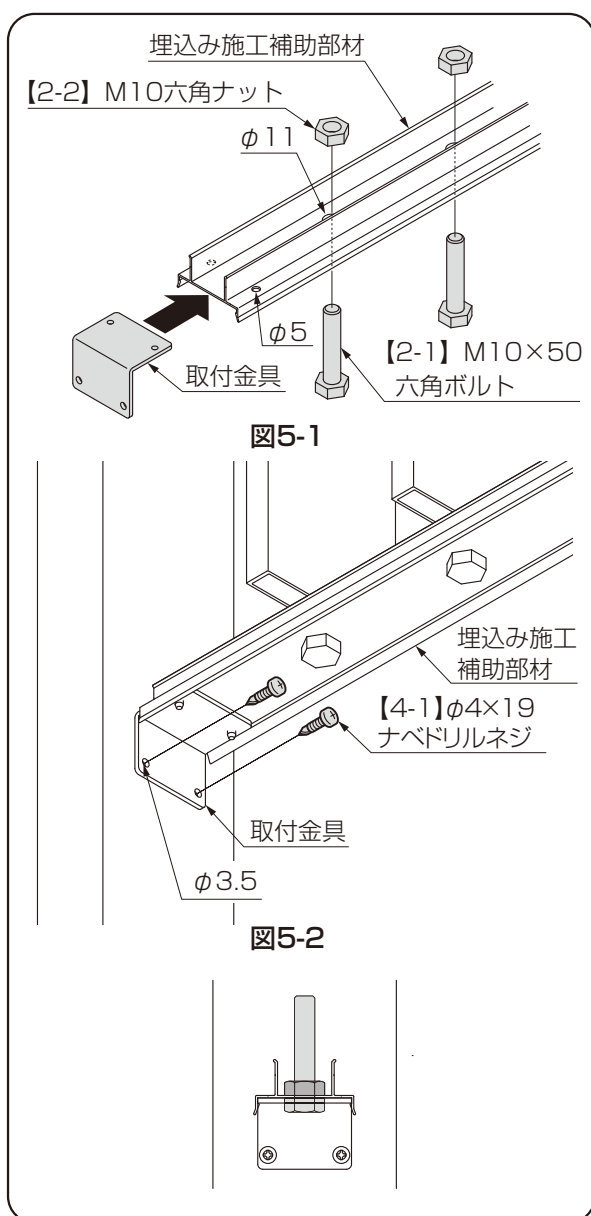
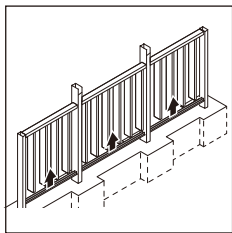
格子上部取付キャップ下側の羽のツメとデザイン格子15×88の向きを合わせてください。(※1)
その後、ホロー部側の羽のツメ(※2)をマイナスドライバーまたはラジオペンチなどで押しつぶして、デザイン格子15×88を差し込んでください。

- ⑤デザイン格子15×88の下端に角木などを入れて下から仮固定して、垂直・位置出しを行ってください。

お願い

デザイン格子15×88は回転させて取付けできますが、小口面がフレームから飛び出さないようにしてください。

5 デザイン格子と埋込み施工補助部材の組付け



- ①埋込み施工補助部材(φ11下穴)に【2-1】を差込み【2-2】で締付けてください。(図5-1参照)
- ②埋込み施工補助部材に取付けた【2-1】を、デザイン格子15×88下部の穴に差込んでください。

お願い

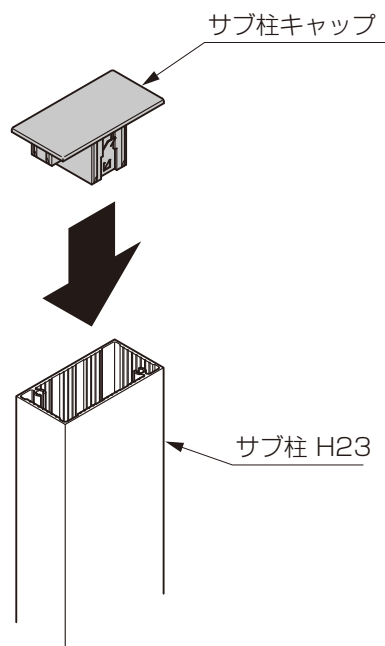
デザイン格子15×88が下がらないように、埋込み施工補助部材の下に角木やバタ角などを入れて押さえてください。

- ③施工補助部材に取付けた、取付金具を柱(φ3.5下穴)に【4-1】φ4×19ナベドリルネジで取付けてください。(図5-2参照)

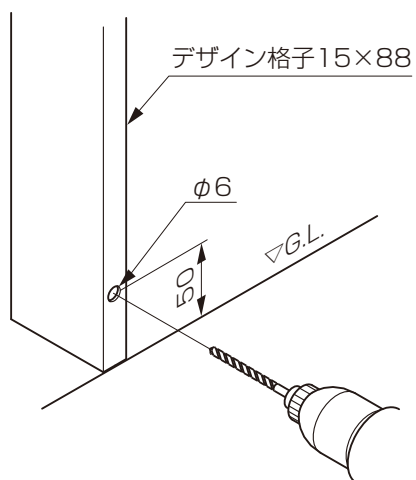
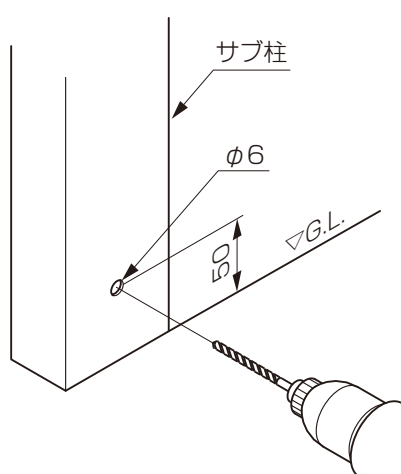
お願い

コンクリート基礎の打設までは、埋込み施工補助部材が下がらないようにしてください。

6 サブ柱キャップの組付け



7 サブ柱とデザイン格子の水抜き加工



補 足

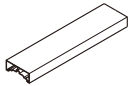
水抜きの加工は本体施工完了した後実施してください。

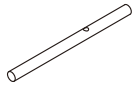
⚠ 注意

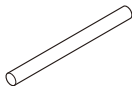
水抜き穴をあけてください。
柱が破損するおそれがあります。

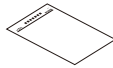
梱包明細表

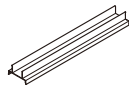
※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

【1】デザインフレーム		
名称	略図	員数
デザインフレーム		1
デザインフレームカバー		1

【2】デザイン格子15×88セット		
名称	略図	員数
デザイン格子15×88		1
格子上部取付キャップ		2
格子上取付部品		1
【2-1】M10×50六角ボルト		1
【2-2】M10六角ナット		1

【3】サブ柱セット		
名称	略図	員数
サブ柱		1
アンカー棒		1

【4】SC用デザイン格子部品セット		
名称	略図	員数
取付スリーブ		8
【4-1】φ4×19ナベドリルネジ		32
【4-2】φ4×50 ナベタッピンネジ3種		24
取付説明書		1

【5】埋込み施工補助部材セット		
名称	略図	員数
埋込み施工補助部材		1
取付金具		2
φ4×13ナベドリルネジ※1		4
M4×12ナベ小ネジ※1		3
M4六角ナット※1		1

お願い

※1は現場調達のものを使用せず、必ず同梱の物を使用してください。

MEMO

MEMO
